

弱溶剤形高日射反射率塗料

ワイド遮熱 α シリーズ

弱溶剤系

- 遮熱効果
- 高耐候性
- 低汚染性
- 防かび性
- 防藻性

WIDE HEAT SHIELD α SERIES

建築塗料の総合メーカー

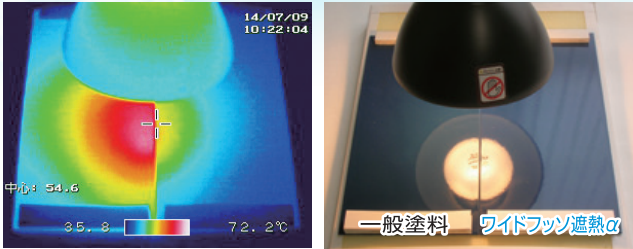


スズカファイナ株式会社

ワイド遮熱αシリーズ

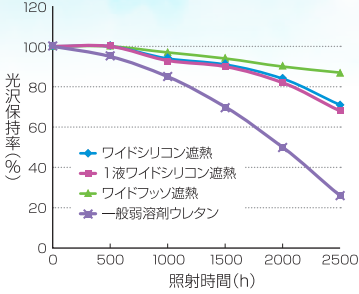
ワイド遮熱α(アルファ)シリーズは近赤外線の反射効率が良好で、太陽光による熱の発生を抑制します。また、低汚染性に優れ、近赤外線の反射効率が長期間保たれます。

■サーモグラフィーで見る遮熱の効果



遮熱試験(室内) [色 : CS7152]

■促進耐候性試験結果



■汚染性比較



暴露場所：東京都内
暴露時間：1年間

壁用標準色

日射反射率レベル：☀☀☀



↑CS4558



↑CS5008



↑CS2048



↑CS0018



↑CS0028



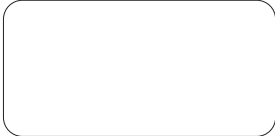
↑CS4018



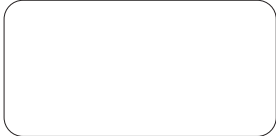
↑CS2018



↑CS6028



↑CS3528



↑CS4038

弱溶剤 2液形ふっ素樹脂遮熱塗料

ワイドフッソ遮熱α

弱溶剤 2液形アクリルシリコン樹脂遮熱塗料

ワイドシリコン遮熱α

弱溶剤 1液アクリルシリコン樹脂遮熱塗料

1液ワイドシリコン遮熱α

日射反射率レベル：☀☀



↑CS6077



↑CS4287



↑CS4197



↑CS4117



↑CS4207



↑CS3226



↑CS3037



↑CS3507



↑CS3586



↑CS3596



↑CS6507



↑CS0057



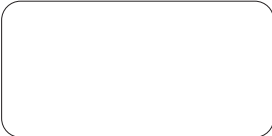
↑CS0106



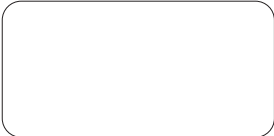
↑CS0097

屋根用標準色

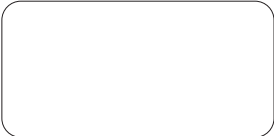
日射反射率レベル: 



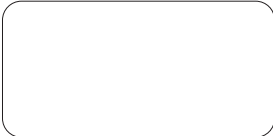
↑CS0118



↑CS0308



↑CS2218



↑CS4838



↑CS7018



↑CS8018



↑CS4758



↑CS2758

日射反射率レベル: 



↑CS0327



↑CS0356



↑CS0375



↑CS7215



↑CS3826



↑CS3856



↑CS3915



↑CS2776



↑CS8037



↑CS8056



↑CS7027



↑CS7056

日射反射率レベル: 



↑CS2303



↑CS2313



↑CS2323



↑CS2352



↑CS0393



↑CS8252



↑CS2371



↑CS0391



↑CS8204



↑CS8224



↑CS8104



↑CS8123



↑CS7234



↑CS7104



↑CS7123



↑CS7152

・各製品とも、標準色設定のみとなります。
・色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは色・つやが多少異なります。ご了承ください。
・色によって材料費が高くなるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
・広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色より多少明るく見える場合があります。

・高日射反射率塗料を塗装する場合、特殊な調色を行っておりますので、塗付量が少ない場合、色相が変化して見えたり、隠れ不足などが生じますので、標準塗装仕様を厳守してください。
・また、市販の種ペンなどでの調色は行わないでください。
・既存塗膜と同等の明度の色または淡い色での塗替えをお奨めします。明度が高い既存塗膜を明度が低い高日射反射率塗料で塗替えても遮熱効果が得られない場合があります。

標準(新設・塗替)塗装仕様

■金属系素地

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。 ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	エポクールワイド	100 (無稀釈)	0.12～0.16	1～2	16 時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイド遮熱αシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	(工程内) 16 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、ワイドラスノン COOL・リフノンも使用できます。
※どが潰れ溶融亜鉛めっき鋼材には、ワイドラスノン COOL をご使用ください。
□塗重ねはワイドシリコン遮熱αは 7 日以内、ワイドフッソ遮熱αは 5 日以内に行ってください。

■セメント系素地

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・フックボルト及び取付金具の発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) (特に、重なり部分や溝、金具周辺は入念に清掃する) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	クールシーラーワイド	100 (無稀釈)	0.10～0.17	1	3 時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
・屋根の場合、取付金具等の金属部分については、 下塗り工程の前にエポマイルドをはけで拾い塗りする。 ※塗膜が薄くならないように注意する。						
上塗り	ワイド遮熱αシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	(工程内) 16 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、リフノンも使用できます。
□塗重ねはワイドシリコン遮熱αは 7 日以内、ワイドフッソ遮熱αは 5 日以内に行ってください。
□化粧スレート瓦の場合、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー部材(タスパーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後、やむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。
□セメント系の屋根材(化粧スレート瓦など)で、吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。
また、下塗り乾燥後にガムテープで基材表層からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。

■塗装上の注意事項

- 降雨・降雪が予想される時、強風の時などは塗装を避けてください。
- 気温 5℃以下、湿度 85% 以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- 塗装面が高温(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 塗装面は、十分に乾燥させてください。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等が発生することがあります。
- 2液形の塗料は主剤・硬化剤を正確に計量混合し、使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
また、可時間内にご使用ください。
- うすめずきは、たるみ、隠べい不足、つや不良などを生じますのでご注意ください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
- 塗付量の数値は標準のもので、素地の形状や状態、塗装方法、塗装環境などによって増減することがあります。
- エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 次のような素地の場合、付着不良やチズミを生じることがありますので、塗装を避けてください。
・清掃が不十分で汚れが付着している素地・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
- 適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
- ドアバックシン、ゴム、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生や、はく離を起す場合がありますので、接触が予測される箇所は塗装を避けてください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は2回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- シャッター、歩行部位への使用は避けてください。
- ベンチ、ジャングルジムなどが乗るもの、または、テーブル・カウンター・棚などものを置くものへの塗装は避けてください。
- 開栓した状態で長時間放置しないでください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー #1000 またはスズカシンナー #2000 をご使用ください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。



営 業 本 部 〒510-0101 三重県四日市市柿町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市浜塩町 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札 幌 支 店 ☎0133-60-6311 東 京 支 店 ☎03-5661-2211 名 古 屋 支 店 ☎052-411-1255
大 阪 支 店 ☎072-862-1601 広 島 支 店 ☎082-277-1116 四 国 支 店 ☎0877-24-4621
九 州 支 店 ☎092-938-0071



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳に記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

塗装適用範囲

適用部位	・建築物 ・鋼構造物 ・屋根
適用素地	・ 金属系素地 銅板・銅材・アルミ・ステンレス・金属系サイディング・トタン・カラータタンなど
	・ セメント系素地 コンクリート・モルタル・スレート・PC 部材・窯業系サイディング・化粧スレート瓦・セメント瓦・波スレートなど
適用旧塗膜	合成樹脂調合ペイント・フタル酸樹脂エナメル・アクリル樹脂エナメル・アクリルアルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・アクリルシリコン樹脂エナメル・リシン・吹付タイル(ふっ素樹脂塗料は不適)

可使時間の目安

		気温(℃)		
		5	23	30
可使時間 (h)	ワイドフッソ遮熱α	8	5	3
	ワイドシリコン遮熱α	10	7	4

塗装間隔の目安 (ワイド遮熱αシリーズ共通)

	気温(℃)			
	5	23	30	40
屋根以外の場合 (h)	8	5	4	3
屋根塗装の場合 (h)	48	16	12	8

荷 姿

●ワイドフッソ遮熱α 16kg セット (主剤 14kg 硬化剤 2kg)	
●ワイドシリコン遮熱α 14kg セット (主剤 12kg 硬化剤 2kg)	
●1液ワイドシリコン遮熱α 15kg	
●エポクールワイド 16kg 4kg	●ワイドラスノン COOL 18kg セット
●クールシーラーワイド 14kg	●リフノン 16kg セット 3.2kg セット

色 相

標準色

■取扱い上の注意事項

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。(呼吸用保護具・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど)
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車輛などに飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、家屋の換気口・空気取入れ口などに溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどを行ってください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には、炭酸ガス・粉末または泡消火器を用い初期消火をしてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。消防法などに従って保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くず)などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 詳細な内容が必要ときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。